

## 平成30年度第1回総会

平成30年度船橋市国際交流協会第1回総会が、平成30年5月16日(水) 船橋商工会議所6階ホールにて開催された。

冒頭、嘉規副会長より、設立以来30年を経た協会は、市内在住の外国人も1万7千人を超え、刻々と変化する社会環境の下、従来からの外国人支援、姉妹友好都市交流、国際意識の啓発、多文化交流などの活動はその継続の必要性に変わりはないものの、その展開手法に新しい試みが求められる時期に来ており、新年度は、次のような新しい試みに挑戦したいとの基本方針が表明された。

従来の委員会方式を廃止し、組織のシンプル化と意思決定の迅速化をはかる。日本語教室学習者の自覚の向上と教室の充実を目的として、受講料の有料化と学習者の協会会員登録制度を導入する。若い世代の人たちに都市間交流や地域社会の共生化などへの積極的な参画を促す活動を増やす。

総会では、平成29年度の活動報告と収支決算報告、及び、上記の基本方針を反映した平成30年度の活動計画案とその予算案が上程され、議案書の通り、賛成多数で承認された。

協会理事、協会役員の任命、および規約の一部改正も議案書の通り承認された。

協会会長の交代をはじめ、下表の新しい役員のもとで新しい年度の活動が始まる。

審議の過程で、30年度の活動計画に関連し、新しく導入される日本語教室学習者への新しい制度についての問題点や具体的運営方法、および今までの委員会制度に代わる新組織での意思疎通や指示伝達方法など、新しい取り組みについての多くの質問や意見が提起された。これらは、新しい取り組みの定着のためには、組織機能の整備、その運用の具体的手法、その周知徹底の方法などの早急な整備を求めるものであった。

平成30年度 役員・部会長一覧

| 役 員        | 氏 名        |
|------------|------------|
| 会 長        | 嘉 規 洋      |
| 副 会 長      | 小田原 隆 泰    |
| 副 会 長      | 田 邊 厚 志    |
| 副 会 長      | 片 桐 卓      |
| 事 務 局 長    | 片 桐 卓 (兼務) |
| 部 会 長      | 氏 名        |
| 国際化啓発・広報部会 | 金 基 英      |
| 交流・相互理解部会  | 梁 瀬 厚 子    |
| 外国人支援部会    | 浦 和 かほる    |

広報 廣田

### 協会会長就任にあたって

嘉規 洋



船橋市国際交流協会は、昨年、皆様のご協力の下、無事に30周年を迎えることができました。

10月には、30周年記念式典と同時に、市制80周年記念事業で来船していた、姉妹友好都市のヘイワード市及び西安市の音楽団をお招きして、記念演奏会を開催することができました。30年という長きにわたり、船橋市の国際交流や外国人支援、多文化共生の分野で、唯一の担い手として関わってこられたのも、会員の皆様のご尽力のたまものであり、心より感謝申し上げます。

私は、この度、平成30年度の協会会長職を預かることになりました。これから活動を進めて行くに当たり、協会活動への所信の一端を申し上げ、皆様方のより一層のご協力をお願い致したく、ご挨拶申し上げます。

平成30年度は、これから先の10年、20年後の協会を考え、これまで国際交流協会の築いてきた、「草の根交流」をさらに進めていくことや急増する外国人の皆さんへの支援をすること、外国人の皆さんと我々との共生に向けた様々な事業を展開することなどが重要課題です。

創設当初からすると、ひと世代あとの年代が活動の主流となっていく中で、これまでの姉妹都市交流の歴史や活動の伝統を継承しながらも、さらに次の世代に引き継いでいくための第一歩目の年にもなります。これまで以上に会員の皆様のご協力をいただきながら進めて参りたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。



平成30年度第1回総会



## 協会会長退任にあたって

みや けいすけ  
宮 慶助



私は、2016年5月に会長に就任し、2年間会長職を務めることになっていましたが、2018年初頭から体調を崩し、療養のため遂行が困難となり、急遽、嘉規副会長に会長代行をお願いすることになってしまいました。

会員各位へのご報告も充分に行えず、失礼いたしました。

私は、2010年副会長に就任以来、約8年間国際交流協会全般に関わる業務に携わってきました。その間、協会を取り巻く環境は常に変化してきています。これに対処するには、協会の方針は2年とか3年計画で考えておくことが肝要かと思えます。

次に具体的な例を二つほど述べてみます。

- ・我が国の労働力不足対策として外国人労働者の導入施策が実施あるいは計画されています。即ち「生活者としての外国人」が増える

ということです。これに伴って、協会の役割を見直す必要がないでしょうか？

- ・協会の会員も着実に高齢化しています。このままで行くと2年後、3年後はどうなるのでしょうか？そのためには何をしなければならないのでしょうか？

私は、上に述べたことがいつも気になりながらも、手をつけることができないままに時間が経ってしまいました。急ぐことはありませんが、じっくり着実に取り組んで頂きたいと思います。

最後に、船橋市国際交流協会の発展と会員各位のご健勝をお祈りいたします。

## 求む!!協会ニュース編集員

関心のある方、お気軽にお問い合わせ下さい。

船橋市国際交流協会事務局

(市役所・国際交流課内)

☎047-436-2083 FAX: 047-436-2089

# 「今」を生きる子どもたちの「未来」を

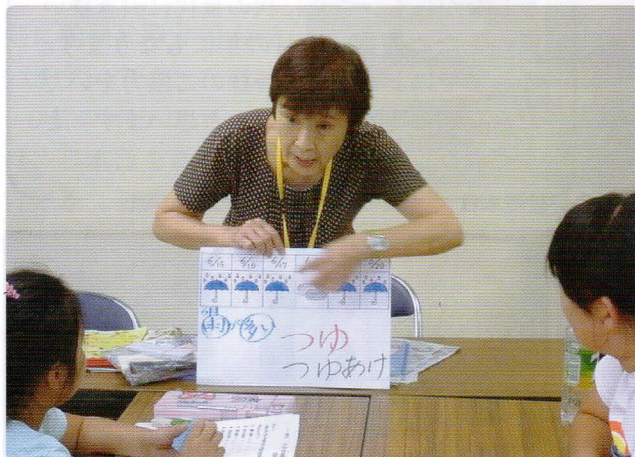
「今を生きる子どもたち」・・・子ども日本語教室・地球っ子に参加するようになり、半年が経ちますが、子どもたちとふれあう中でこんな言葉が浮かんできました。

中国から来日間もないAさんの目を見た時です。Aさんは私の口元をしっかりと見て、私の日本語の後に続き、発音を試みます。その目から、Aさんの一生懸命さや思いが伝わってきたのです。一人一人、いろいろな思いや不安をかかえ、来日したのだと思いますが、子どもたちは日々、成長していきます。様々な不安を乗り越え、まさに「今」という時を一生懸命、生きているのです。

私は地球っ子に参加する前、小学校に勤めていまし

たが、その時出会ったB君のことも思い出します。日本語がわからないわけですから、みんなと行動を共にしようとする時、彼の目は必死に働きます。先生や友達動きからとるべき行動を読みとります。ここにも「今」を懸命に生きる姿がありました。

そんな子どもたちに「日本語を教えたい」という思いだけから、ボランティアを始めたのですが、研修を受ける度に自分の考えの貧弱さに気付かされました。彼らが日本語を学ぶということは、人としての成長期にある子どもたちにとって、彼らの未来につながる大切な学びということ。その学びを通して将来、母国や日本、自分をも大切に思える大人に成長して欲しいと思います。 子ども日本語教室 加藤 純子



6月の学習テーマ「雨」



ジェスチャーも重要なツール



# 世界遺産富岡製糸場見学

5月30日(水)曇天のなか、協会の交流・相互理解活動の一つとしてバス研修が行われた。

スタッフが受付とお菓子とお茶と目印のリボンをテキパキと配り、ほぼ定刻にバスは市役所前を出発した。研修先は富岡製糸場で皆さんワクワクと楽しそうであった。

総勢35名で約半数が外国の方で、日本人と半々であったが、日本人の8名はスタッフであった。田村元会長もご参加下さり、心強い限りであった。

バスの中では自己紹介があり、ほとんどの方は初めてのバス研修のようであった。中国の方が多いと思われたが、とてもフレンドリーで上手に日本語を話し、日本語教室の先生方のご指導の賜物だと感心した。高速道路は空いていて順調に昼食場所の、かの有名なおぎのや横川店で「峠の釜めし」をいただいた。横川は峠の釜めしの発祥の地で隣接するセントラルキッチンでは1時間に約3,600個、1日に約37,000個の釜めしを生産し、ほとんどの食材を国産で賄っているそうで驚いた。

外国の方は初めての釜めしが相当珍しかったようである。食べ終わった容器は持ち帰って良いとの事で、1人前のお米を炊くとか、味噌汁を作るとか言いながら持ち帰っていた。

食後はぽつぽつと雨が落ちてきたが、バスで30分程の富岡製糸場に到着した。

見学の際には、ガイドの方が丁寧に案内してくれた。

今から146年前、明治維新を迎えたばかりの政府が日本近代化のため国策として輸出品の要であった生糸の品質改良と大量生産するためにフランスから技術者を招き、機械も輸入して、富岡に工場を構えた。生糸を生産するための壮大な建物や倉庫、病院、外国人居住者のためのコロニアル風の建物など、当時としては目を見張る最先端地であったのだろう。

日本人にはとても良く理解出来る丁寧な説明であったが、外国の方にはどうであったか感想を聞いてみたら、歴史がよく分かって良かったと言ってもらったので、ホッと胸をなで下した。

帰りは3時に駐車場を出発した。バスの中では早々にビンゴゲームが始まった。外国の方は初めてのビンゴだったようで勝手が分からず、皆で協力してビンゴゲームを楽しんだ。景品は田辺副会長の差し入れで、風鈴や布バックであった。

バスの中では、中国語でのお喋りが小鳥が囀るような優しいイントネーションで、内容は解らないなりに心地よく、とても癒された。中国語って良いなあと思った。5時過ぎに市役所前に着いた時にはかなりの大雨になっていた。

顔見知りになった外国の方々が、楽しかった!また次の催しにも参加したいと言っていた。

田辺副会長始め、スタッフが支えた素晴らしいバス研修であった。

交流・相互理解部会 梁瀬 厚子



参加の皆さん



富岡製糸場

# 外国人相談窓口の2017年の活動

2017年は94回、延べ325件の相談を受けました。年金・健康保険・転出入等の手続きの通訳と、生活に密着した駐輪場の申し込みや帰国前にどうやって布団を処分したらよいかといった相談にのっています。国籍別では、半数は中国人で、それにフィリピンやネパールなどのアジアの国々が続きます。最近の傾向としてアフリカの方が増えて、ブルキナファソといった一般にはあまりなじみのない国も含まれています。ボランティアは中国語、英語、スペイン語、韓国語で対応しており、市役所の11階の114会議室で毎週月曜日と金曜日の10時から16時、多彩な出会いを楽しみつつ活動しております。 外国人相談窓口 二宮 美鈴

外国人相談窓口  
外国人咨询处  
외국인상담장구

Foreign Residents' Assistance Service  
Consultorio Para Habitantes Extranjeros

10:00 ~ 16:00  
11階114会議室  
11계114회의실  
11F RM 114



外国人のための相談窓口  
毎週 月曜日・金曜日に開催



## 外国人のための「防災体験会」

6月10日（日）船橋市立湊中学校で行なわれた「防災体験会」には、主催した災害時外国人支援グループを含め、28名（うち外国人8名）が参加しました。

第一部は市の危機管理課による「地震体験車」と火災の時の「煙体験」です。子どもたちの為に、最初は初級コースで、2回目には阪神淡路大震災や東日本大震災などの揺れを体験しました。皆さん、こんなに揺れるなら家具の固定をきちんとしなければと話されていました。煙の体験も、煙が怖い事を分かってもらえたと思います。

第二部は、場所を多目的室に移して市民安全推進課による、自転車利用者の為の交通安全教室です。9問の様々な状況での注意事項を、クイズ形式で考えてもらうものですが、小学生の子どもたち

が活発に回答を出してくれて、楽しく自転車での危険な事を勉強できました。

研修が終わるのを待っていたように、台風5号の影響による雨が降り始めました。当日は、湊中学校、湊地区社協の皆さまには本当にお世話になりました。ありがとうございます。

8月25日（土）、26日（日）には同じ会場で、外国人のための「避難所宿泊訓練」を行います。是非ご参加ください。  
災害時外国人支援 片桐 卓



起震車での地震体験



自転車交通安全教室

## 葛飾公民館の日本語教室の紹介

JR西船橋駅から徒歩で約10分、京成西船橋駅から徒歩で約5分ほど北へ行った所に葛飾公民館があります。

この公民館では、毎週金曜日の夜7時から9時まで日本語教室があります。9名の日本人ボランティアが外国人に日本語を教えています。毎週勉強に来る方は30名位です。

皆さんの国籍は、中国・ベトナム・インドネシア・フランス・ネパール・ガーナ・イスラエル・南アフリカなどで、いろいろな国から来ています。数年前は、中国人が半数を占めていましたが、3年位前からベトナム人が急に増えました。今では半数近くがベトナム人です。ここに勉強に来る方たちは、日中は仕事をして夜勉強に来る人がほとんどですが、疲れているにもかかわらず真剣に勉強に取り組んでいます。

9名のボランティアは、日本語を教えるだけでなく日本の文化や

習慣等も同時に教えて、皆さんが日本の社会でスムーズに生活できるように手助けをしています。年末にはボランティアと学習者が全員参加してのお楽しみ会を行います。このお楽しみ会では、軽食を取りながら歌を歌ったり、踊ったり、けん玉リレーやクイズ大会をしたりして、毎回凄く盛り上がり楽しい思い出を作っています。

ところで今の葛飾公民館の悩みは、ボランティアの人数が少ないことです。多い時は15名いましたが今は9名です。

ボランティアで日本語を教えてみよう!という方をお待ちしています。

日本語教室 鎌形 茂樹



日本語勉強の様子



お楽しみ会の風景

## インターナショナル・フェスティバルを開催します。

日 時：平成30年10月28日（日、無料開放日） 場 所：ふなばしアンデルセン公園  
詳細は追って、HP（[www.fira.jp](http://www.fira.jp)）、メールマガジンなどにてお知らせします。

船橋市国際交流協会 ☎047-436-2083 FAX. 047-436-2089